

政策シンポジウムの実施にあたっては、岡山地本及び各地本・総支部政策・調査担当役員を含めた準備委員会を設置し、連携を密にいくこととします。

1. 地域活性化に向けた活動の展開
2. JR連合と連携した政策実現に向けた取り組み
3. 安全で秩序あるバス事業に向けて

8 政治活動の取り組み

選挙の効率化や関心を高めるなどを目的に4年に1度、3月1日～5月31日に任期満了となる都道府県の知事、市・町・村長、地方議員の選挙をまとめて実施する第19回統一地方選挙が4月に実施をされます。この統一地方選挙の結果は国政にも影響を及ぼすことがあり、政党的執行部の進退につながることもあるため、非常に重要な選挙です。その中で、前回の統一地方選挙については厳しいなか、JR西労組組織内候補4名全員の当選を

我々の政策課題実現に向け
「交通政策をすすめる会」へ
全組合員で加入しよう！

**JR西労組主催
「第7回政策シンポジウム」の実施について**

日時 2019年5月28日
場所 岡山「コンベンションセンター」コンベンションホール
規模 200名程度
来賓 岡山市、総社市、NPO法人公共交通フレンド（RACDA）、地元議員、地元新聞社

果たすことができました。そして、7月には第25回参議院選挙が実施され、今回の選挙から参議院の定数が6枠増え、比例区の上位2位について政党の判断で拘束名簿方式の「特定枠」として設定することが可能となり、これにより参議院比例区では拘束名簿方式と非拘束名簿方式の両方が混在する選挙となるほか、新元号での初の国政選挙となります。また平成生まれの立候補が可能になり、平成生まれの参議院議員が誕生する可能性があります。

加えて、憲法改正、消費税率引き上げの是非や、北方領土問題の2島先行返還などを問うための衆参同日選挙の可能性が強まる中、今後、一強政治・長期政権の弊害のなかで国会・国民軽視が続いてきた安倍政権が次々と政策を打ち出し、昨年の通常国会での外国人材受け入れ問題は、国のあり方や社会全体に大きな影響を及ぼすテーマです。

確固たる民主主義の実現には巨大与党に対峙できる健全な野党勢力が必要です。しかしながら野党同士で選挙区の候補を奪い合う状況も生じているほか、野党内で所属先を移動するなど有権者には理解できない行動もかま見えます。今後の政治勢力がどのような党運営・国会対応をはかっているのか、引き続き慎重に見極めていく必要があります。

政権交代可能な二大政党体制の構築をめざし、組織内議員・推薦議員との連携を深めつつ、広く社会から共感を得られる政治活動・労働運動に取り組み、働く者・生活者の立場に立った政策実現をめざしていきます。

その上でJR西労組は、政局の動向とは距離を置き、特定の政党を支援していくのではなく、連合、JR連合の方針を踏まえ、JR西労組の運動方針等に賛同する政治家個人を支援するとの考えに立ち、改めて私たちが政治との関わりや重要性を訴え、日常的に政治活動への理

[2018年度改選を迎える議員団所属議員]

所属地本	氏名	議会名	改選期
京都地本	近藤 宏和	向日市議会	2019年 7月
京都地本	梶原 英樹	京都府議会	2019年 4月
大阪地本	田尻 匠	奈良県議会	2019年 4月
神戸地本	栗山 雅史	兵庫県議会	2019年 4月
岡山地本	楠木 忠司	岡山市議会	2019年 4月
米子地本	福間 裕隆	鳥取県議会	2019年 4月
広島地本	山下 隆夫	下関市議会	2019年 2月
広島地本	酒本 哲也	山口県議会	2019年 4月
広島地本	柿本 忠則	広島県議会	2019年 4月

[比例区]推薦候補者

出身産別	候補者名	担当地本・総支部
電力総連	浜野よしふみ	現 金沢・京都・大阪・和歌山・福知山・神戸・西バス地本・総支部
私鉄総連	森屋 たかし	現 岡山・米子・広島・福岡・中バス



萩山委員長、三日月滋賀県知事から激励を受け、必勝を誓う柿本氏(中央左)と梶原氏(右)

解を広げるべく、政治への参画の大切さを引き続き提起し、活動を強化していきます。さらに、JR産業界として抱える政策課題の解決に向けては、とりわけ人口減少局面の中でいかに持続可能な公共交通体系を構築し、交通運輸産業の活性化、地域との共生など、交通政策基本法を軸とした取り組みが一層求められています。私たちの政策課題の実現のために、引き続き、JR連合国会議員懇談会、21世紀の鉄道を考える議員フォーラム、およびJR西労組地方議員団会議との連携を強化しなければなりません。

今年度は、すでに下関市議会選挙が実施されており、3月以降は地方議員団会議の会員のうち8名の選挙があります。とりわけ第19回統一地方選挙では、現職の梶原英樹氏(35才、京都地方本部執行委員、柿本忠則氏(36才、広島地方本部副執行委員長)が府県議会議員に挑戦します。

関係地本を主体に、議員団会議に加入している組織内議員上記2名をはじめとする全員の当選に向けて、全力をあげて支援活動に取り組みとします。

今後も推薦候補の当選への支援活動はもちろんのこと、世代交代が進む中で、組合員の政治参画意識を促し、働くことを軸とする平和で安心な社会の構築、鉄道や公共交通の維持・発展と雇用と生活の改善に向けた要求実現のためにJR西労組の政治方針に基づき、私たちの意見を代弁していただける議員を議会に送り出すことが重要です。そのためには組合員とその家族へJR西労組の政治方針の理解を広げ、JR西労組が推薦する議員への確実な投票に向けて足元を固める取り組みを強化していくこととします。

9 福祉対策活動の取り組み

第30回大会以降、組合員相互扶助の精神に則り、「交運共済」「家族支援共済」をJR西労組の主たる共済と位置付け、組合員と家族の福祉の増進をめざして取り組みを進めてきました。

具体的には、共済の加入促進や、事象発生時の連絡・申請および迅速な給付など、各級機関の力強い取り組みにより、世話役活動の柱として大きな成果を収めることができました。特に家族支援共済については、年間取り組み目標を大きく上回る950名の加入を果たすことができました。

また、昨年は年間を通して大規模な災害が発生し、各地で甚大な被害をもたらす、多くの組合員やご家族が被災しました。この状況を鑑みて、万一の災害に備えた火災共済・地震風水害共済の一層の加入促進が重要となっています。

新規採用者については、今年も総合共済およびセット共済の全員加入に向けて取り組みます。

具体的には、福祉対策部運営委員会をはじめとする各級機関の対策会議を開催し、さらに充実した取り組みを進めることとします。

10 国際連帯活動の取り組み

他国の労働組合役員や働く仲間との交流を通じて、相互理解と友好・信頼関係を構築することは、民間外交の観点から非常に有意義な活動であり、訪問などにより社会情勢及び歴史や文化に触れることで国際的視野を広げ、今後のJR西労組運動や社会生活に大きく寄与するものと考えています。このように、JR西労組運動を推進するうえで、労働組合として国際労働運動を学ぶことは非常に有益であるとの認識のもと様々な取り組みを行ってきたことで、一定の成果をあげてきました。

今年度も5月に第24回国際連帯活動として、台湾鉄路工会との交流を図ります。

今後の国際連帯活動については、派遣方法や規模などを一部見直す方向で検討を進めています。



11 財政の確立に向けて

中央本部は、第30回定期大会に基づく効率的な予算執行を行っており、執行状況を本部「組織・財政検討委員会」へ報告し中長期展望に立った議論を進めています。

2018年度上期の中央本部の予算執行は、対予算に対して収入が56.0%前年55.0%、支出が49.4%(48.8%)の執行状況となっています。

組合費収入は、対前年比99.2(99.3)%、675万円の減収(602万円減)となりました。

想定(予算)の収入は上回っていますが、前年同期比では減収であり、より一層の緊縮財政の運営が求められます。

次年度以降も当面の間は、平均組合費は微増傾向が続きます。

1. 大会方針に基づく予算執行
2. 本部財政と地方財政の整合と適正化について
3. 中長期的な展望について

12 当面の組織運営について(省略)

一方で、シニア層の増加により組合費収入の減少傾向が続くものと想定されます。したがって、JR西労組運動の継続、発展にむけ、組織拡大はもちろんのこと、人件費をはじめとする財政支出全般の見直しによる経費節減、さらには将来に向けた再度の組合費改定もいずれは議論すべき課題であると認識しています。

今後より一層の緊縮財政の運営により、健全財政の確立に努めることとします。